

さくら観測員

少しでも早く開花を知りたい

さくら観測員の五十嵐さんと山上さんは、サクラの開花シーズンにあわせて丸山公園にある標本木の開花状況を観測しています。開花宣言は、標本木に5輪以上の開花が確認されたときに行い、昨年は日本一早い開花宣言となりました。

気象庁OBの五十嵐さんは、観測を続けて40年以上になります。年明けに標本木の芽の状態を確認し、3月上旬に行われる観測開始式以降は毎日朝晩と標本木を観測して芽の大きさなどを測っています。

さくら観測員の2人はこの時期だけではなく、

木が病気になっていないかや枝が折れそうになっていないかなど、日ごろから標本木の状態を気にかけています。

五十嵐さんは、「標本木がある丸山公園は満開時には多くの花見客でにぎわい、開花を楽しみにしてくれている人も多い。春の訪れを少しでも早く皆さんに知らせたい。そして、今年も日本一早い開花宣言を目指して毎日観測を続けたい。」と話してくれました。

※「さくら観測開始式」は、広報P27で紹介しています。



有料広告